

## Sunshine 第12回 Lessons

### Lesson 12-1: 疑問詞⑦ (Why)

#### 1. Why ~? = なぜ ~ ですか

- <例> Why is he in our classroom? <なぜ彼は、私たちの教室にいるのですか>  
Why do you want to go to Chiba? <なぜあなたは千葉に行きたいのですか>  
Why does she have your textbook? <なぜ彼女はあなたの教科書をもっているのですか>

#### 〔補足説明〕

Why ~? (なぜ~ですか) という疑問文では、Because + 文 (なぜなら + 文) の形で答えられる場合が多い。

- <例> A: Why is he in our classroom? B: Because he is our teacher.  
(A: 彼はなぜここにいるのですか。 B: なぜなら、彼は私たちの先生だからです)

### Lesson 12-2: 様々なフレーズ⑩

#### 1. everyone / everybody = みんな

- <例> Everyone is smart. <みんな賢いです>

#### 〔補足説明〕

「みんな」と主に訳される everyone / everybody や、「全生徒」と訳される every student といった every ~ の形は、複数形のように思えて実は単数形になります。そのため、be 動詞は is が使われ、一般動詞には s/es がついたり、doesn't や Does ~? が使われたりします。

- <例> Everybody is tall. (みんな背が高いです)  
Everyone needs water. (みんな水が必要です)

また、everyone と everybody の違いは、everyone の方が多少書き言葉であり、everybody は、多少口語的である。

#### 2. pray (for ~) = (~ のために) (~を) 祈る

- <例> I pray for you every day. <私は毎日あなたのために祈っています>

### 3. across = ～を横切って / ～を横断して (前置詞)

<例> Let's go across the street. <道を横切りましょう>

#### [補足説明]

across は「通りの向こう側の家」のように名詞 (家) を説明する際のフレーズとしても使うことができる。

<例> I live in the house across the street. (私は通りの向こう側の家に住んでいます)

### 4. ~, you know. = ～、わかるでしょ / ～だよね

<例> That place is not safe, you know. <あの場所は安全ではないの、分かるでしょ>

#### [補足説明]

you know は、何かを言い始める前の「え〜っと」という意味でも使われることがある。会話ではよく登場するフレーズ。

<例> A: Let's go to that restaurant. B: You know, I am not hungry.

(A: あのレストランに行きましょう。 B: えっと、私は空腹じゃないんだよ)

## Lesson 12-3: 様々なフレーズ⑫

### 1. anything = (肯定文で) 何でも / (疑問文で) 何か / (否定文で) 何も

<例> I don't know anything about him. <私は彼について何もしりません>

### 2. early = 早く (に)

<例> He gets up early every day. <彼は毎朝早くに起きます>

### 3. No way = ありえない / とんでもない

<例> A: I run 10 km every morning. B: No way.

<A: 私は毎朝 10 キロ走ります。 B: ありえない>

### 4. What's (What is) the date today? = 今日は何日ですか

<例> A: What's the date today? B: It is July 5.

<A: 今日は何日ですか。 B: 7月5日です>

#### [補足説明]

What's the date today? は、日付をたずねる言い方。What day is it today? とすると、曜日をたずねる言い方なので注意。また、日付は July 5 と書いたりするが、読むときは July fifth と「日」は、序数 (first, second, third, など) となるので注意。答える時は、主に it が主語に使われ、日にち自体を答えているので、on は入らない(「～日に」という場合は、on が入る)。

## Lesson 12-4: 道案内で使われる表現①

### 1. Excuse me. = (話しかける時などに使う) すみません / 失礼します

<例> Excuse me. Can I sit there? <すみません、そこに座ってもいいですか>

#### 〔補足説明〕

一般的に sorry と excuse me の違いは、sorry は「謝罪の意が含まれる」「自分の非を認めて申し訳なく思っている“すみません”」（例：遅刻をした、大きなミスをした、など）」なのに対し、excuse me は「あまり謝罪の意図が含まれない“すみません”（例：話しかける時、人にぶつかりそうになった時、誰かの話を遮る時、など）」となる。

また“Excuse me, but 文”と、間に but を入れて、次の文につなげる場合もある。

<例> Excuse me, but can you talk slowly? <すみませんが、ゆっくり話してくれますか>

### 2. the ○○th floor = ○○階 \*○○th = 序数

<例> We are on the third floor. <私たちは3階にいます>

#### 〔補足説明〕

基本的に「どこの建物の何階なのか」ということが限定されているため、the ○○th floor と the がつく。また「○○階にいる / ある」という場合は「○○階に乗っている」というイメージなので、前置詞は on が使われる。「○○階に行く（○○階まで行く）」という場合は、go to the ○○th floor など、前置詞は to が使われる。

<例> Let's go to the second floor. <2階に行きましょう>

イギリス英語では、1階のことを (the) ground floor と言い、その1階上を (the) first floor、その上を (the) second floor と呼ぶため注意が必要（練習では、(the) first floor = 1階、(the) second floor = 2階とする）

### 3. next to ~ = ~ の隣

<例> My room is next to hers. <私の部屋は彼女の隣です>

#### 〔補足説明〕

next to の前に right（「右に」という意味ではなく「ちょうど」という意味）を足して right next to ~（ちょうど～の隣）という表現も良く使われる。また、next は「次の（形容詞）」「次に（副詞）」という意味で使われることもある。

<例> When is your next class? （あなたの次の授業はいつですか）

What do you want to do next? （あなたは次に何をしたいですか）

4. (take) the elevator = エレベーター (に乗る)

(take) the escalator = エスカレーター (に乗る)

<例> You can take the elevator. <あなたはエレベーターに乗ることができます>

〔補足説明〕

「エレベーター / エスカレーター に乗る」という場合、動詞は主に take が使われる。また、ここで登場する elevator / escalator は、どこのエレベーター / エスカレーター なのか限定されていることが推測されるため（今、自分たちがいる建物のエレベーター / エスカレーターなので）the がつく。

**Lesson 12-5: 道案内で使われる表現②**

1. turn right = 右に曲がる

turn left = 左に曲がる

<例> Turn right there, and you can see the store.

<そこを右に曲がって、そしたら（あなたは）お店が見えます>

〔補足説明〕

「その角を右に曲がる」という場合は、Turn right at the corner. という表現が使われる。また、「次の角を」という場合は、at the next corner となり「2番目の角を」という場合は at the second corner となる。

<例> Turn left at the next corner. (次の角を左に曲がって)

また、Turn right there, とカンマが打たれる。その理由は、and の後は命令文となっておらず、別の文となっているため。命令文が2つ繋がる場合は、通常カンマは使われない。

<例> Go home and do your homework. <家に帰って、あなたの宿題をして>

2. go up to the ○○th floor = ○○階まで上がる

go down to the ○○th floor = ○○階まで下がる

<例> Take the elevator and go up to the fifth floor.

<エレベーターに乗って、5階まで上がって>

〔補足説明〕

「5階までエレベーターで行く」という場合、Take the elevator to the fifth floor. というのも可能。

### 3. have a good time = 良い時間を過ごす

<例> A: Thank you. B: You're welcome. Have a good time.

<A: ありがとう。 B: どういたしまして。良い時間を過ごしてください>

#### 〔補足説明〕

have a good time は、別れの挨拶などにもよく使われる。また、同じような意味で have a good day や have a good one といった表現もよく使われる。（命令文は、言い方によって丁寧な表現にすることもできるので、please をつけなくても「良い時間を過ごしてください」というニュアンスを表すことができる）。